

# 2014年度 事業報告書

2014年 5月 1日から 2015年 4月 30日まで

特定非営利活動法人arts initiative tokyo

## 1 事業の成果

2014年度は、レジデンス事業（「アーティストの東京滞在宿舍の提供及び生活支援サービス」）において、いくつかの新たな展開を試み、実現することができた。一点目は、これまでアーティストやキュレーターを中心に招聘してきたが、初めて編集者を招聘し、調査研究の機会を提供した。ここでの交流を契機として、イギリスの主要なアート雑誌「フリーズ」において、日本の現代美術に焦点をあてた記事掲載につながり、国際的な発信ができた。その後も、同雑誌には、継続的に日本のアートシーンについての掲載があり、AITが招聘した編集者がその執筆に関わっている。二点目は、ロンドンの歴史あるアート・センター「カムデン・アーツ・センター」と連携を組み、招聘キュレーターによる展覧会を企画し、陶芸、能、パフォーマンス、現代の視覚芸術をつなぐ実験的なイベントを共催した。レジデンス事業において、招聘キュレーターが海外でその成果を発表することはあっても、国内で企画を実現したのは、AITとしても初めてのことであった。また、2015年秋には、日本人アーティストをロンドンに派遣予定で、作家の海外派遣を継続する計画である。三点目は、2013年の招聘キュレーター（ニュージーランド）とAITのキュレーターが、日本のアーティスト6名を紹介する展覧会を共同企画し、招聘キュレーターが所属したオークランドのアートスペースにて開催した。レジデンスを契機として、キュレーターが問題提起を行い、関心を共有し、それが共同企画に結びつくことの意義は大きい。

**「アーティストの東京滞在宿舍の提供及び生活支援サービス」事業**では、イギリス、オランダ、ドイツ、スウェーデン、北米、アフリカなどの6ヶ国から計8名のアーティスト及びキュレーターを東京に招聘し、作品制作や調査の支援、トークを行った。前述の「フリーズ」編集者の招聘について、具体的な記事としては、3.11以降の日本のアーティストによる写真表現のあり方や、大正時代の美術の動向に焦点をあてたものが掲載された。「カムデン・アーツ・センター」と共催したイベントについては、招聘アーティストが東京都内の工房で制作した新作を展示したほか、彼らの表現や東京滞在に関するトークも行い、約120名の来場者を迎え盛況に終えることができた。作品は、帰国後も、イギリス各地の展覧会にて発表予定である。

**「海外におけるアーティストレジデンス施設に関する情報収集、提供」事業**では、各国のレジデンス施設の資料を取り寄せる等して調査し、希望者に情報を提供した。

**「国内アーティストの海外施設への入所支援」事業**：該当なし

**「現代美術の展覧会、ワークショップの実施及びその支援」事業**では、ダイムラー・ファウンデーションの支援で運営するレジデンスプログラムの日独交流の成果展として、ドイツ人作家2名、日本人作家2名による展覧会を原美術館にて開催した。また、バックーズ・ファンデーションの支援によるレジデンス・プログラムでは、カンボジア系アメリカ人とケニアから招聘した2名のアーティストによる新作展を山本現代にて開催した。加えて、森美術館で開催された展覧会の関連企画として、「子どもキャプション・ワークショップ」を開催。都内の幼稚園生や小学生数百人を対象に、作品を鑑賞したあと、言葉や絵で感想を表現してもらい、それらをパネルにして展示会場に設置した。子どもを対象とした、数百人規模のワークショップを開催したのは、AITとして初めてで、今後の事業に生かして行きたい。また、2013年の招聘キュレーター、ヴェラ・メイとAITのキュレーター堀内奈穂子の共同企画で、ニュージーランドのST PAUL St Galleryにおいて「Invisible Energy」展を開催し、日本のアーティスト6名を紹介した。

**「現代美術に関する公開講座の実施」事業**では、現在の社会状況とアートとの関係（例：2020年の東京五輪に向け、日本のアート事情はどのように変容していくか？等）をひもとく3つのテーマを掲げた「アドバンス・スタディーズ」を初めて開講した。講師と参加者のディスカッションも講座の重要な要素と位置づけ、定員は通常よりやや少なめの20名とし、意見交換を促す仕組みとした。また、昨年を引き続き、長野での「MADフェンバーガー」ではアートと変性意識の関係を探る日帰りコースと宿泊コースを開催した他、アートツアーを3回行った。国内ツアーでは、札幌で初めて開催された国際芸術祭を訪れた。海外は、ロンドンの「Frieze Art Fair」や主要な美術館等を巡るものと、タイ・チェンマイでは、AITキュレーター企画による国際交流基金主催の展覧会を中心に訪れた。参加者に向けた事前レクチャーを行う等、体験と学びに重点を置いた企画を行い、アートファンのコミュニティーを生み出している。さらに、AITのレジデンス・アーティストやキュレーター等による講演会「AITアーティストトーク」や「AITスライドトーク」（計5回実施）には、各回20-40名が参加し、活発な意見交換を行う場づくりができた。

**「現代美術に関する機関誌発行、インターネット上でのホームページ開設、情報提供」事業**では、メールマガジンにおいて、イベントやアート系人材募集等の情報を、約6,500件のアドレスへ配信し続けている。

**「飲食提供業、物品販売業」事業**では、MADの受講生他アート関係者等、多くの人の親交を深めるための交流会を年4回開催し、アートの仕事をテーマとしたイベントや海外から招聘したアーティストの紹介、海外で行った展覧会の報告の他、MADの一貫で訪れる長野県佐久市のコミュニティの活動の紹介等を行った。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名   | 内容   | 実施日時                          | 実施場所                 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び数 | 支出額(千円)  |
|---|--|-------------------------------|----------------------|--------|-------------|----------|
| ①アーティストの東京滞在宿舍の提供及び生活支援サービス                                   | 東京に招聘したアーティスト一覧：計6名、別紙1参照                                  | 2014年5月-2015年4月               | AITレジデンス(大田区、港区、文京区) | 4名     | 6名          | 13,018千円 |
|   | 東京に招聘したキュレーター、ライター一覧：計2名、別紙1参照                             | 2014年7月-12月                   | 東京                   | 4名     | 2名          |          |
| ②海外におけるアーティストインレジデンス施設に関する情報収集、提供                             | 海外のレジデンス施設の資料取り寄せ  | 2014年5月-2015年4月               | -                    | 1名     | データなし       | 0千円      |
| ③国内アーティストの海外施設への入所支援  | 該当無し   | -                             | -                    | -名     | -名          | 0千円      |
| ④現代美術の展覧会、ワークショップの実施及びその支援                                    | 「アート・イン・ザ・オフィス」運営協力  | 2014年2月-2015年2月               | マネックス証券(株)(千代田区)     | 2名     | 100名        | 22,725千円 |
|   | 大林組コーポレートコレクションメンテナンス業務                                    | 2014年5月-2015年4月               | (株)大林組本社(港区)         | 2名     | -名          |          |
|   | Asia Society HK パトロンツアー企画・アテンド                             | 2014年5月                       | 都内近郊美術館、ギャラリー他       | 2名     | 10名         |          |
|   | 森美術館「コー・ビトウィーンス展 - こどもを通して見る世界」関連企画「子どもキャプション・ワークショップ」     | 2014年6月                       | 森美術館(港区)             | 4名     | 250名        |          |
|   | 「The BARvol.7 アルバート・サムレス(アメリカ)とゴッホ・スターダン(ケニア)による新作展」展開催 主催 | 2014年7月                       | 山本現代(港区)             | 4名     | 250名        |          |
|   | 「アート・スクープ2012-2014」- 旅の後(あと)もしくは痕(あと)」展                    | 2014年7-10月                    | 原美術館(港区)             | 2名     | 9220名       |          |
|   | Asia New Zealand Foundation キュレーター(3名)ツアー企画・アテンド           | 2014年9月                       | 都内近郊美術館、ギャラリー他       | 4名     | 3名          |          |
|   | Asian Art Archive パトロンツアー企画・アテンド                           | 2014年10月                      | 関西、直島他               | 2名     | 20名         |          |
|   | 第7回恵比寿映像祭がイトツアー企画  | 2015年2-3月                     | 映像祭展示会場(恵比寿がーテンプレイス) | 5名     | 50名         |          |
|   | “回る世界の静止点で”- 舞踏、能、コンテンポラリー・ダンス、現代陶芸を繋ぐ1日限りのイベント- 共催        | 2015年2月                       | SHIBAURA HOUSE(港区)   | 3名     | 120名        |          |
| In and Out of the Scene : アートが息づく場の内と外- 「アート・センター」の意味と役割を考える- | 2015年2月  | 代官山AITルーム                     | 4名                   | 25名    |             |          |
| AITキュレーター共同企画「Invisible Energy」展                              | 2015年2-3月  | ST PAUL St Gallery(ニュージークランド) | 2名                   | 1600名  |             |          |

|                         |   |   |  |   |   |                 |
|-------------------------|---|---|--|---|---|-----------------|
| <p>⑤現代美術に関する公開講座の実施</p> | <p>現代美術の教育プログラムMAD：「キュレーション」「アートワールド」「アトバンス・スタジオ」：テーマ①1964-あの頃の東京から考える2020年/テーマ②アートは世界をどう変える？/テーマ③ヨーロッパ「理性の溶かし方」「果てしない絵画の世界」「大いなる分岐とアートの存在論」「ディスコースのラボ」「アーティスト・プラクティス」「MADフェンバーガー：日帰り・宿泊コース、ヨガ・リトリート」開講（コース制&amp;クーポン制&amp;ゼミ制&amp;アトバンス・スタジオ&amp;MADフェンバーガー）</p> <p>オンライン講座FREE MAD、1900-1959年の美術史を配信</p> <p>国内外のアーティスト及びキュレーターのトーク 5回実施</p> <p>札幌国際芸術祭2014と北海道の自然を巡る3日間ツアー主催</p> <p>アートフェア、美術館、作家のスタジオをめぐる-秋のロンドン・アートの旅6日間、スコットランドのウイスキー蒸留所を訪ねる10日間ツアー 主催</p> <p>「MADフェンバーガー」日帰り、宿泊、ヨガプログラム 主催</p> <p>六本木アートレジッド、レクチャーシリーズ AIT LINK LABO開催(2講座)および1DAYレジッドに参加(1講座)</p> <p>AITキュレーター企画の展覧会「Shuffling Spaces」オープニング&amp;フリーフェスティバルのチェンマイを訪ねる4日間ツアー主催</p> <p>アートフェア東京2014 教育パートナーとしてガイドツアー企画運営</p> <p>トイ銀行社員向け教育プログラム(アート・スコープ展)</p> | <p>2014年4月-12月</p> <p>2014年5月-2015年4月</p> <p>2014年5月-2015年4月</p> <p>2014年8月</p> <p>2014年10月</p> <p>2014年5-10月</p> <p>2014年8月、11月、2015年2月</p> <p>2015年2月</p> <p>2015年3月</p> <p>2014年9月</p> | <p>代官山AITルーム</p> <p>オンライン</p> <p>代官山AITルーム(渋谷区)</p> <p>札幌</p> <p>パリ</p> <p>長野県佐久市</p> <p>アカデミーヒルズ(港区)</p> <p>タイ・チェンマイ</p> <p>東京国際フォーラム(千代田区)</p> <p>原美術館(港区)</p> | <p>6名</p> <p>1名</p> <p>4名</p> <p>2名</p> <p>2名</p> <p>3名</p> <p>4名</p> <p>2名</p> <p>2名</p> <p>4名</p> | <p>220名</p> <p>視聴回数：9000回/月</p> <p>全5回各回20-40名</p> <p>15名</p> <p>15名</p> <p>40名</p> <p>300名</p> <p>1名</p> <p>50名</p> <p>25名</p> | <p>24,135千円</p> |
|-------------------------|---|---|--|---|---|-----------------|

|   |                                 |                     |   |    |        |     |
|---|---------------------------------|---------------------|---|----|--------|-----|
| ⑥現代美術に関する機関誌発行<br>インターネット上でのホームページリニューアル、情報提供 | メールマガジンにおいてイベントやアート系人材募集等の情報を配信 | 2014年5月-<br>2015年4月 | - | 5名 | 6,500名 | 0千円 |
|---|---------------------------------|---------------------|---|----|--------|-----|

(2) その他の事業

| 事業名         | 事業内容   | 実施日時                | 実施場所      | 従事者の人数 | 支出額(千円) |
|-------------|--|---------------------|-----------|--------|---------|
| 飲食提供業、物品販売業 | 交流会4回開催<br>(参加人数：各30-80名)  | 2014年5月-<br>2015年4月 | 代官山AITルーム | 4名     | 91千円    |
|             | 初夏の夜のラウンジ・イベント シングリアス「ないなら作ろう！ 新たなアートの場を立ち上げる方法論」  | 2014年6月             | 代官山AITルーム | 4名     |         |
|             | AIT+ARCUSシングリアスサイト Vol.7夢、月、自然観、近代建築... アーティストたちのコスミック・マインド - オランダ、アルゼンチン、キプロス、スウェーデンから4名のアーティストを迎えて | 2014年11月            | 代官山AITルーム | 4名     |         |
|             | シングリアス「チェンマイ発、東京経由、オーケランド」<br>- AIT堀内奈穂子による2つの展覧会報告と、参加アーティスト小鷹拓郎による新作上映会 -                          | 2015年3月             | 代官山AITルーム | 4名     |         |
|             | 春のシングリアス「SAKU SATURDAY NIGHT MARKET」   | 2015年4月             | 代官山AITルーム | 4名     |         |
|             | 以上   |                     |           |        |         |

<別紙1>

①アーティストの東京滞在宿舎の提供及び生活支援サービス

アーティスト／キュレーター一覧（提携機関あるいは招聘プログラム名および氏名）

IASPIS（スウェーデン文化機関）：ジェニー・オーケルト（スウェーデン）

MONDRIAAN FONDS（オランダ文化機関）：エロディー・ヒーリックスック（オランダ）

文化庁：ジェシー・ワイン（イギリス）、キャロライン・アシャントル（フランス、ドイツ在住）、ジーナ・ブエンフェルト（イギリス）

バックカース・ファンデーション（日本任意団体）：ゴル・スターン（ケニア）、アルバート・サムレス（アメリカ）、クリスティー・ラング（アメリカ、ドイツ在住）